

## 2024 後期トレセンスタッフ研修会 報告書

報告者：ユース育成部長 杉山 貴昭

【日 程】：2024 年 7 月 28 日（日）

【場 所】：（講義）長良川スポーツプラザ （実技）長良川球技メドウ

【参加者】：地区ダイレクター・県/地区トレセンチーフコーチ  
県トレセン GK コーチ・地区 GK コーチ

【講 師】：馬淵 圭太 氏 【シニアチューター/GK チューター】  
上田 真也 氏 【JFA フィジカル C チューター】  
吉田 敬 氏 【FP 指導レクチャー/トレセンスタッフ研修会担当】  
前田 幸憲 氏 【GK 指導レクチャー/GK キャンプスタッフ】

### 【内 容】

#### 1) G-ACTION 2030 の振り返り(ユースダイレクター：杉山)

G-ACTION 2030 作成の経緯や概要について説明され、岐阜県が目指すべき方向性について共有を図った。また、今後の活動において、「つながり」を持つことの大切さについて発信がなされた。特に、指導者の横のつながりを大切にし、G-ACTION 2030 を合言葉に岐阜県のサッカーを発展させていきたいと強く語りかけた。



#### 2) 講義 1：フットボールミーティングの報告

実技「GKを含めたビルドアップ」について（トレセン研修会担当：吉田）

U17W 杯インドネシア 2023TSG の報告より日本の課題について共有された。特に、ビルドアップの安定さについて言及され、岐阜県でも同様に今後の課題としてトレセン現場においてもトライしていただきたいとのことであった。その中でも GP (GK) の関わりは現代サッカーにおいては欠かせないものとなってきていることが強調された。

実技「GKを含めたビルドアップ」では、1.相手を誘い出すこと 2.トライアングルの形成 3.モビリティについて重点的

に説明があった。サッカーにおける原理原則を積み上げていくことに加え、「岐阜らしさ」を武器に、日本を代表する選手を育成していきたい。



### 3) 講義2：岐阜県の現状と指導者としての資質向上について

(シニアチューター：馬淵)

ワークを通じた研修を通して、指導者一人ひとりの力を合わせることや目的に向かって協力することの大切さを学んだ。何人かの指導者が集まれば知識量はおのずと増えていく。また、アプローチの仕方や解決策も多岐に渡る。一人で抱え込むのではなく、多くの指導者がつな

がりみんなで創り上げていくことでより大きなものができると感じた。

さらに岐阜県の上級ライセンス取得者が少ない現状に触れ、今後に向けた指導者のレベルアップや学びの継続、セーフゲーディングの必要性についても発信された。



### 4) 特別講習：「救急救命講習」(岐阜北消防署)

岐阜北消防署職員をお招きし「救急救命講習」を実施し、胸骨圧迫やAEDを用いた応急手当ての方法を実技形式で学んだ。胸骨圧迫では、正しく実施するためのポイントを体の構造上の特性からわかりやすく解説していただいた。また、AEDを活用した実践的な演習を行い、実際に現場で起こりうる状況を想定し、実

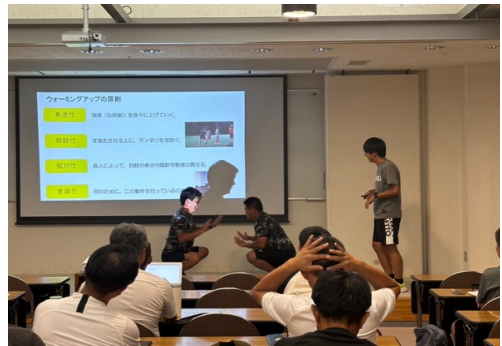
践力を養った。緊急時には救急隊員が来るまでの時間を我々現場にいる指導者が適切に対処できるように備え、選手が安心・安全してプレーできる環境を整備していきたい。今後も継続的に実施していきたい。



## 5) 講義4：フィジカル（JFA フィジカル C チューター：上田）

今回は、「フィジカル測定の結果」と「ウォーミングアップの意義と概念」について国スポ選手とトレセン選手の30m スプリントと立ち幅跳び

（両足、右足・左足）の測定結果を基に研修を行った。30m スプリントと立ち幅跳びの記録には基本的には相関関係が見られるが、そうではない選手に着目すると、怪我の発見や左右差の有無、動作改善、ランニングコーディネーションの必要性など課題の発見につながるものが指摘された。また、そのような課題をウォーミングアップに組み込んでいくことの大切さにも触れられた。現代サッカーにおいては、フィジカル的な要素の高まりが増している。今後も継続的な研修の場の提供が必要であると感じた。



## 6) 実技

指導レクチャー：「アグレッシブにボールを奪う」「GKを含めたビルドアップ」

### ①ウォーミングアップ（上田）

ウォーミングアップでは、10分程度でできるメニューを紹介していただいた。トレセン現場においても参考にしながら取り入れていきたい。



### ②GP（GK）トレーニング（前田）

### ③FPトレーニング（吉田）

G-ACTION 2030 をもとに「岐阜らしさ」を盛り込んだトレーニングについてレクチャーが行われ、トレセン指導者のベクトル合わせを行なった。



総勢70名ほどの指導者が参加され、講義から実技まで終日にわたって学びの多い研修となった。講師の皆様、参加していただいた皆様ありがとうございました。

今後も私たち指導者自身が学び続け、岐阜県サッカーを盛り上げていきたい。

